

会議名：株式会社広域高速ネット二九六

2023年度 印西市・八街市・栄町・酒々井町 放送番組審議会

日時： 2024年2月16日（金）11:00-13:30

場所： 広域高速ネット二九六 通信技術センター会議室

出席者： 番組審議委員および弊社役員・社員 12名

■出席委員

浅尾 智康	委員	八街市教育委員会 教育長
大谷 文男	委員	酒々井町商工会 会長
小幡 和男	委員	印西市商工会 会長
木村 俊幸	委員	酒々井町教育委員会 教育長
福田 守	委員	八街商工会議所 会頭
藤ヶ崎 功	委員	栄町教育委員会 教育長
安永 順子	委員	ボランティアグループ「けやきの会」代表

■株式会社広域高速ネット二九六 出席者

藤本 光弘	代表取締役社長
柴倉 宏行	取締役営業本部本部長
藤本 健太郎	営業本部放送制作部部長
兼子 喜幸	営業本部放送制作部グループ長
平川 裕	営業本部放送制作部グループ長補佐

番組視聴

■今年度制作・放送した番組

1. 第49回 日本ケーブルテレビ大賞 グランプリ総務大臣賞／コミュニティ部門優秀賞 受賞
NEXT EP（ネクステップ）～地域から…未来への提言～
「高齢ドライバーによる事故を減らすには」（30分番組／全7話）
2023年制作

番組審議

■<浅尾 智康 委員 八街市教育委員会 教育長>

日頃から学校の話題を取材いただき、感謝しています。

審議番組は、テーマとして、社会で話題になっている高齢ドライバー問題を取り上げたところが良かった。報道番組の中には偏った視点で語られる番組も多い中、高齢者自身の声なども取り上げ、丁寧に取材するなど、バランスが良かったと感じた。また、課題解決に向けていろんな視点で取り上げた点が良かった。免許返納後どうするのかとか、返納しないためにはどうするのかといったことは、報道番組の中で語られることは少なかった。既定路線ではなく、様々な視点で取り上げたところが良かった。また、各界の講師、専門家をバランスよく取り上げ、運転免許のあり方や、街づくりの話題等、深く考察を行っていた。

私の専門は教育関連ですが、教師の働き方について所謂ブラックだと言われ、メディアでは先生方が大変だということばかりを取り上げられている。楽しく、やりがいを持って働いていることを、もっと取り上げてほしい。

この番組では高齢ドライバーの運転免許証を必要としている人たちの声もしっかり取り上げていた。1つの課題に対して時間をかけて掘り下げる姿勢は素晴らしい。次のテーマにも期待している。

■<大谷 文男 委員 酒々井町商工会 会長>

最近のニュースでも、立て続けに高齢者ドライバーの事故のニュースがあった。自分も父親が80歳で免許証返納したという経験がある。免許返納のベースには、代わりになる足、頼める親族に運転できる人がいる等の環境が必要。そうした免許返納後の、代わる何かについて、番組で紹介したり、広い視野で語られることは余りなかった。山梨県など遠方も取材し、努力を感じた。地域にとって将来のシステム構築の一助となったのではないかなと思う。また、免許返納後の新生活の取材の中では、コスト的な問題も取り上げられていた。それを何か違う形で補うことも考えていかなければと考えさせられる番組だった。

■<小幡 和男 委員 印西市商工会 会長>

審議番組を拝見して素晴らしいと感激した。私自身、先日、教習所にて高齢者教習を受けてきたので、番組の中身は身に染みて感じているところがある。車で旅行に行くのにも体調不良で事故になったらどうしよう等と考えながら、安全運転をしている。番組にあった安全装置について、自動運転装置といったものが出回ってくることに希望を持っている。年を取ると当然のことながら、目も見えないようになってくるし、体もすごく疲れる。そうした意味でも良い企画だった。

■<木村 俊幸 委員 酒々井町教育委員会 教育長>

番組を拝見して、初めの頃は少し視線が下を向くようなつらい気持ちがあった。横文字で言えば、初めはネガティブな感じだが、終わりの頃は、ポジティブな考えを持つことができた。番組はケーブルテレビでの放送では

あるが、高齢者講習の中で見せてはどうかと思った。また運転能力を訓練で鍛えることによって、継続して運転できるようになるといった取材に新しいイメージを持ちました。高齢者講習とか免許返納の話題は、世間では高齢者の事故ばかりが取り上げられているということもあり、マイナスな印象を受ける事もあります。この番組は決してそうではなかった。DVD で配布等は難しいかもしれないが、何かの機会にぜひ取り上げて見せていただくと、高齢者の方も元気が出てきて、生活が明るく豊かになるのではと感じた。本当に素晴らしい番組で、感動した。

■<福田 守 委員 八街商工会議所 会頭>

番組の中で、訓練すれば能力を鍛えられるというような話もあった。良い番組を毎年作っているのもっと多くの人に見てもらえればと感じる。データ放送等、見てもらえるようにもう少し PR してはどうか。BS・CS があって、パソコン等でも映像は見られるが、1日は24時間しかないのも、その中から何を選んでもらうかという点で、広報にも力を入れてもらいたい。折角取材しているのだから、もっと PR して視聴率を上げるようになってもらいたい。このような立派な番組を作っているのも、告知の面でも努力してもらいたい。番組を視聴して、私自身も大変勉強になったし、高齢者の皆さんに見てもらえたらいいと思う。沢山見てもらえるように頑張ってください。

■<藤ヶ崎 功 委員 栄町教育委員会 教育長>

昨晩もニュースで高齢ドライバーの起こした人身事故を取り上げていた。また、2019年に発生した東池袋自動車暴走死傷事故では母子2人が死亡し、高齢ドライバーである容疑者に実刑判決が下り、加害者・被害者共に SNS の誹謗中傷なども問題となり、重いテーマとなった。私自身、86歳の父親が免許返納に応じてくれるまで、色々大変なことがあった。郵便局では、お孫さんからおじいちゃんおばあちゃんにハガキで「詐欺に遭わないように」と書いてもらうという活動をしている。この番組を見て、ふと小学生にお孫さんからおじいちゃんおばあちゃんへ、番組を見てもらったり、免許返納をお願いしてもらおうというのも良いと思った。他局でも放送して多くの人に見てもらいたい。

■<安永 順子 委員 ボランティアグループ「けやきの会」代表>

(免許返納に関して) 栄町には龍夢(ドラム)くんの絵柄のコミュニティバスがある。町民は病院に行くにも、買い物に行くにも皆さんそれを利用している。北総栄病院への通院や、マルエツへの買い物で利用しているようだ。荷物はマルエツ等のスーパーが配達してくれるようだ。スーパー等のそうしたサービスは非常にありがたいと思う。ただ、電車で安食駅に降りたときにタクシーが1台もなかったことがある。荷物があつたのでタクシー会社に電話したら30分以上かかると言われ、歩いて帰った。歩ける体力がない場合は30分待たないといけないのだろう等、考える。そうした経験から、運転できる人は、なかなか返納したくないだろうと思う。幸い我が家は徒歩圏内に行政・銀行・スーパー等があるが、そうではない場所では運転免許証が必要だと思う。また、免許証を書き換えに行くときは「しっかり運転しなきゃ」と思うが、いざ免許証をもらって運転すると、徐々にその気持ちも薄れていく部分がある。怖い思いをすとか、何かきっかけがない限りは、免許返納を決断できないような気がする。もっと広くこの番組が見てもらえることを期待している。

以上